

第23号

花だより

平成28年2月

発行：安佐南区花いっぱい運動推進委員会事務局(安佐南区地域起こし推進課内) ☎ 831-4926 FAX 877-2299

【推進委員会事務局】



松島先生の 園芸作業12カ月 2月  
一きれいな花を咲かせよう!

本格的な園芸シーズンを前に、花壇の土づくりをしましょう。草花を美しく咲かせるためには、土の通気性、排水性、保水性、保肥性等をよくすることが必要です。バーク堆肥や牛ふんなどの有機質を入れて土の改良を行いましょう。さらに、上下の土を入れ替える天地返しを数年に行うと効果的です。また、チューリップや水仙等、多くの秋植え球根が芽を出し始めます。この頃に芽出し肥（軽く耕し、薄い液肥を与えること）をしておくと、立派な花が期待できます。



【安東支部】 報告者：上長者 辰雄

梅の名所「八木梅林」と「西風梅苑」

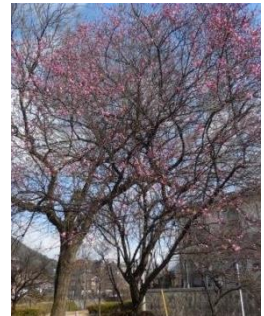
「梅一輪 一輪ほどの 暖かさ」

この俳句は、芭蕉の弟子である服部嵐雪が詠んだ有名な句です。前橋市の真言宗金剛寺の志田住職は、この句を「厳しい寒さの中で梅が一輪咲き、それを見ると、ほんのわずかであるが一輪ほどの暖かさが感じられる」と解し、「梅の花が厳しい寒さのなかで開花するさまは、人生に例えられる。苦しい時、悲しい時、寂しい時に寒さの中で咲く『梅一輪』の健気さと暖かさを感じていただきたい」と法話しておられます。心に残るお話だと思います。



【美しく咲く梅の花】

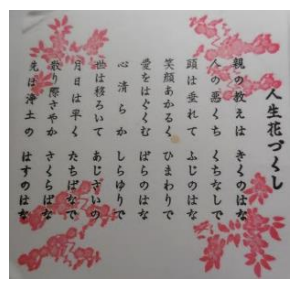
梅は、天候によって開花時期が大きく左右されます。今年は、暖かい日が比較的多かったため、開花が早いようです。安佐南区の梅の名所である八木梅林公園、古川土手の梅は咲き始めており、中には5分咲のものもあります。新しい梅の名所、西風新都の西風梅苑の梅は、蕾が膨らみ始めています。八木梅林公園は2月中旬頃、西風梅苑は2月下旬から3月上旬に、梅の花の見頃を迎えるでしょう。時期をみて訪れ、清雅で香り高い梅の花や樹齢の永い樹を觀賞してください。



【八木梅林公園の梅】

—感慨深い「人生花づくし」の教え—

過日、安佐南区内の某日本料理店において飲食した際、コースターに書かれていた「人生花づくし」と題する言葉に出会いました。これは、人生においてちょっと心すべきことを花



【人生花づくしコースター】

に例えて表現しています。一読すると、「なるほど、面白い」と思うとともに、過去を振り返り、改めて感謝や反省の念が湧いてくるのではないのでしょうか。「人生花づくし」は、次のとおりです。

- 【人生花づくし】
- ・親の教えは 菊の花
  - ・人の悪口 クチナシで
  - ・頭は垂れて 藤の花
  - ・笑顔明るく 向日葵で
  - ・愛を育む バラの花
  - ・心清らか 白百合で
  - ・世は移ろいて 紫陽花の
  - ・月日は早く 橘で
  - ・散り際さやか 桜花
  - ・先は浄土の 蓮の花
- ※原文の花は、ひらがなで記載

## 花を咲かせる大変さと嬉しさを実感

私は、一昨年から花いっぱい運動に参加し、近所の公園の花壇をお世話しています。昨年からは沼田支部に入会させていただき、沼田公民館で実施された「花づくり講座」で、種から育てる花づくりに初めて挑戦しました。

4月に、ペチュニア、インパチェンス、千日紅を蒔きました。ペチュニアの種を見て、とても小さいことにびっくり！この種をどのように蒔くのか、興味津々で手本を見てみると、先生は、種と土を混ぜてパラパラと蒔かれていました。このように蒔くことで、小さな種でも均等に蒔けることを学びました。インパチェンスはばら蒔き、千日紅は一粒ずつ蒔くなど、花種によって種の蒔き方もいろいろあることを知りました。自宅に帰り、講座で習った通りに種蒔きをしましたが、均等に蒔けなかったり、一粒蒔くところに二粒入ったりと、なかなか思うように上手くいきませんでした。しかし、種蒔きに苦戦した分、芽が出てきた時はとても嬉しかったです。日に日に大きくなる苗を、毎日何度も眺めては喜んでいました。苗は、大きいものや小さいもの、強いものや弱々しいものなどいろいろですが、何とかポット上げをすることができ、7月には花壇に定植しました。その後は、毎日の水やりが楽しい日課となりました。自分で種から育てた花は、お店で花苗を買って植えた花以上に、とても可愛く思いました。花が咲くと、さらに嬉しさが増しました。

7月の末には、葉牡丹の種を蒔きました。生長は今一つでしたが、11月には何とか花壇に定植できました。現在では、公園に来られた方々を楽しませています。心を込めて育てると、花も期待に応えきれいに咲いてくれました。公園に咲いた花を見て、公園で遊ぶ子ども達や、地域の方々が「きれいだなー」と言ってくださいます。花を咲かせることの大変さを知るとともに、花を見た人の心も優しくしてくれることに、花の強い力を感じています。



【自分で育てた葉牡丹を公園の花壇に定植しました】

## 安佐南区を「花いっぱい」の町に！！

安佐南区は、都心でありながらも山や森に囲まれ、自然豊かな環境の良い町です。この町を、地域の皆さんと一緒に花いっぱいにするにより、一層住み良い所にしようと始まった「花いっぱい運動」は、今年で15年目を迎えました。この活動は、一過性のイベントではなく、継続されるものでなければなりません。そのためには、花が大好きな人同士の交流や、協力が必要です。仲間ができることで、作業も楽しくなり、花談議にも花が咲きます。



【みんなで楽しく作業中】

さらに、自分で育てた花がきれいに咲いた時は、花好きな者にとって至福の時です。

自分の住む町の一角や、公園、広場などがゴミや雑草で荒れていませんか。皆さんの社会貢献で、荒れた場所を花と緑の癒しの場に変えませんか。私たちと一緒に活動してくださる方を募集しています。「花いっぱい」の安佐南区にしましょう！



## 花壇をホームページで紹介しています

平成28年2月1日現在、「花いっぱい運動」に登録している花壇は100カ所！公園や道路沿い、公共施設や駅前など、区内の様々な場所に



【この看板が花壇の目印です】

に花壇が設置されています。登録花壇には、緑の看板が立てられていますので、探してみてください。



【月に一回程度更新】

登録花壇の中でも、見ごろの花壇を推進委員会のメンバーが撮影し、安佐南区役所のホームページ内「安佐南区は花いっぱい！今が見ごろの花壇を紹介します！」のコーナーで紹介しています。大事に育て咲いた花を是非ご覧ください。